

日本教育史部門

「1950年代教育史」研究部会（第57回）

日時：2021年8月6日（金）13:00～15:00

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員
吉久知延所長・山口和人・金沢千秋・川上智子（野間教育研究所事務局）

内容：鳥居研究員「第3章第1節 戦後の子どもの長期欠席の顕在化とその周辺」

- ・担当章構成案 変更箇所など
- ・これまで発表した第2節・第4節のうち、加筆・修正した部分の報告
 - 第2節加筆：50～60年代の長期欠席児童減少の要因について
 - 第4節修正：九十九里浜の漁民の生活の実態、児童の年季奉公と人身売買問題
米軍基地の規模の差など
- ・「第1節」
 1. 「青少年問題」対策の展開と子どもの長期欠席の位置
 - (1) 戦争孤児・浮浪児対策と不良化防止対策にみる子どもの欠席
 - (2) 政府の青少年問題対策と長期欠席とのかかわり
 - (3) 子どもの長期欠席とその周辺
 2. 文部省の長期欠席問題への対策方針
 - (1) 文部省の就学をめぐるスタンス
 - (2) 長期欠席対策の共同通達にみる文部省の方針

・次回研究会 2021年8月27日（金）13:00～